

ユネスコスクール キャンディデート校インタビュー

学校名（都道府県）
久喜市立栗橋西小学校（埼玉県）
1. ユネスコスクール加盟を目指したきっかけは何ですか？
本校では「カリキュラム・マネジメントによる学校教育活動の改善に関する研究～SDGsの実現を目指すESDの取組をとおして～」を研究課題としています。ESDの実践をとおして、子ども達が「困難な課題に立ち向かい、様々な人々と力を合わせて解決し、よりよい未来を創ろうと考え行動する力を身に付ける」ため、学校の教育力向上を図りたいと考えました。
2. チャレンジ期間中、加盟に向けてどのようなことを意識し、何に力を入れてきましたか？
SDGsを視点とした教育課程を編成し、「SDGs実践計画表」「ESDカレンダー」等を作成しました。これにより、1, 2年生は生活科、3～6年生は総合的な学習の時間を核とした教科横断的な学習指導を計画的に実施できるようになりました。また、地域の教育力を生かす取組を行うとともに、教育課程を改善するPDCAサイクルを確立しました。さらに、SDGsルームの設置・整備等、学習環境の整備にも力を入れてきました。
3. 加盟申請後、学校や教員、児童生徒に変化はありましたか？
ESDの学習環境が整い、学校全体が明るくきれいになりました。また、地域の教育力を活用し、友達と力を合わせて課題解決に取り組む子ども達は、学習意欲に満ち溢れています。そのような教育活動を計画・実施する先生方もやる気に満ち、互いに相談し合いながら創意工夫を凝らしています。SDGsに関する校内研修にも意欲的で、教室の黒板掲示用としてSDGsのロゴカードを作成しました。先生方が日々の授業で活用することで、子ども達のSDGsに対する意識が高まっています。落ち葉はき等のボランティア活動に積極的に取り組む姿が見られるようになりました。
4. その他、メッセージなど（任意）
今後もSDGsの実現を目指すESDの取組をより一層推進し、子ども達が未来を生きていく力を確実に身に付けられる教育活動を実施していきたいと考えています。ユネスコスクールの申請も引き続き行い、教育活動の範囲を久喜市内から埼玉県内、日本国内へと広げていきたいと考えています。